

記者発表資料

提供日：平成19年11月29日

担当：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局  
(財団法人 日本花普及センター)

連絡先：03-3664-8739



**ジャパンフラワーセレクション2007-2008  
「切花部門・鉢物部門 in かんさいフラワーショー2007」の審査会を  
2007年11月23日(金)午前に実施し、  
切花部門10品種、鉢物部門11品種が入賞。  
【展示期間:11月23日(金)~25日(日)】**

### 1. 概要

全国規模の花き新品種コンテスト「ジャパンフラワーセレクション2007-2008」の切花部門・鉢物部門の審査会を、11月23日(金)かんさいフラワーショー2007の会場で実施し、切花部門10品種、鉢物部門11品種が入賞として選ばれました。

入賞した品種は、花の業界が推奨する品種として「JFS 受賞マーク」を表示して販売することができ、12月の中央審査委員会で年間を通じて決定する「フラワー・オブ・ザ・イヤー(最優秀賞)」「ベスト・フラワー(優秀賞)」「特別賞」の対象品種としてノミネートされます。

### ■審査概要

日時：2007年11月23日(金) 9:30~12:00

場所：花博記念公園鶴見緑地 水の館ホール【大阪府大阪市鶴見区】

### ■審査対象

バラ、キク、カーネーション、デルフィニウムなどの新品種を審査しました。

【出品品種】48品種 (切花部門22品種 / 鉢物部門26品種) うち

【入賞品種】21品種 (切花部門10品種 / 鉢物部門11品種)

### ■審査委員

国内の花き業界を代表する学識者、フラワーデザイナー、花の市場関係者などが、公正な視点で専門的に審査を行ないました。

#### 【切花部門】

審査委員長 今西 英雄 (東京農業大学 教授)  
大川 清 (静岡大学 名誉教授)  
深井 誠一 (香川大学 農学部教授)  
奥田 芳彦 (株式会社なにわ花いちば 営業推進部長)  
寺井 宏次 (株式会社天満花重 代表取締役)  
高橋 洋子 (有限会社すみれフローラルアート 代表取締役)

#### 【鉢物部門】

審査委員長 長岡 求（株式会社フラワーオークションジャパン 取締役）  
藤原 孝（兵庫県生花株式会社 大阪営業所 大阪植物取引所 専務取締役）  
高林 成年（元京都植物園 園長）  
腰岡 政二（日本大学 生物資源科学部 教授）  
石原 記念男（日本ハンキングバスケット協会 理事長）  
大石 直彦（大和園芸代表者 前大阪園芸商組合 理事長）

## 2. 入賞品種、受賞者は、別紙

## 3. 審査委員講評

#### 【切花部門】

今回は、ダリア、ハボタンといったこの季節であるからこそこの品目が見られた。個別の評価については、以下のとおりである。

ダリア「黒蝶」は、色と形がゴージャスな印象を与え、洋・和両方に使うことができる。また、ブライダルを中心の花としても使える。草丈が長く、色鮮やかである。

デルフィニウム「トリックイエロー」は、これまで春～初夏の限定した時期に流通していた原種ザリルしかなかった黄色を周年流通できるようにした品種であることが評価でき、他の花ともあわせやすく、用途が広い。また、茎は剛直で使い易い。

バラ「ピーチアヴァランチェ<sup>+</sup>」は、アヴァランチェ<sup>+</sup>の枝がわりであるから、生産性が高いと思われる。大輪の中でこれまでに無かった花色である。

キク「白粧」は、「神馬」に代わる品種として期待される。花色がきれいであり、満開のキクの花をブライダルに使うといった目的にあう品種であろう。

バラ「M-プリマバレリーナ」は、茎の柔らかさを評価。色も定番で使いやすい。

デルフィニウム「試交9号」は、やや茎が柔らかい点が問題であるが、青色の鮮やかさが評価された。

デルフィニウム「ポラリス」は、白色で多目的に使い、茎が剛直である点を評価。

バラ「てまり」は、茎が柔らかく、しなやかさを評価。

バラ「ハニーピンク<sup>+</sup>」は、高芯剣弁のバラで新鮮さを感じる。

ブラッシカ（ハボタン）「F<sub>1</sub>バイカラートーチ」は、色のコントラスト映え、新しい素材として評価できる。

#### 【鉢物部門】

シクラメンやシンビジウムなど年末の主要品目を中心に 26 品種の出品があり、11 品種が入賞として選ばれた。個別の評価については以下のとおりである。

シクラメンでは、4 品種が選ばれた。「プラチナピンク」は、シルバーリーフの品種としては初の営利品種であることが評価された。また、花色を増やすことや花形の改良、葉に光沢があればなお良いなどの意見が出された。「ST.フレーム」は、ピアスに似た色彩にフリンジがあり、明るい色彩が評価された。「プリマドンナ ワイン」と「プリティアー プリンセス ブルー」は、ユニークな花模様が評価されたが、後者は花形や花色のバラツキを見ると育種途中の過程であるとの指摘もあり、今後更なる改良が期待される。

ペリカリス(サイネリア)「桂華®天空」は、木立ち系の選抜品種であるが、従来、木立ち系サイネリ

アに形質の安定した品種がなく、形質を安定させた品種として評価された。

洋ランでは3点が選ばれた。オドントグロッサム（ウィルステケアラ）「ルージュマジック」は、花持ちや生産性の改良が評価され、コンパクトにまとまる草姿も注目された。ドリタエノプシス「ハッピービアン チュンリー」は、花立ちの良さや明るく目を引く花色が評価され、同じく「ハッピーアマー エレガンス」は、中輪系品種として整った花形と淡いピンクの花色が美しいとして選ばれた。

花木類では、アザレアとルクリア（アッサムニオイザクラ）、バラの3点が選ばれた。アザレアは、海外からの導入品種が大半であるが、「ロマンスパール」は国内育成品種であり、明るい花色や花付きの良さなど営利性が高く評価された。ルクリア「スイートルビー」は、在来品種と比べて花色が濃く、また、コンパクトにまとめやすいなどの特徴から入賞に選ばれた。バラ「mia 愛子」は、ポリアンサローズには珍しい明るい色彩と半八重の花形が評価された。

今年入賞した全品種の中から、2007年12月14日に  
第2回フラワー・オブ・ザ・イヤーズ決定！



左記が、生活者に「これが優れた新品種です」とお知らせするJFS受賞マークです。日本語の「花」と英語の「Flower」をかけあわせて新しい花の固有性を表現しました。

世界の新品種コンテストとしては、北米を中心とした全世界的なオールアメリカセレクション、ヨーロッパを中心としたフローロ・セレクトがありますが、アジア発、日本発の新品種のコンテストは、このジャパンフラワーセレクションがはじめてです。

■お問い合わせ先：ジャパンフラワーセレクション実行協議会事務局

TEL 03-3664-8739 FAX 03-3664-8743

〒103-0004 中央区東日本橋3-6-17 山一ビル4階 (財)日本花普及センター内

E-mail: jfpc@jfpc.or.jp

★今年の入賞品種はこちらをご覧ください。 [www.jf-selections.net](http://www.jf-selections.net)